

溶接線のPT中 気分が悪くなり意識を失った

【発生状況】

タービン下車室内のPT作業中、浸透液を洗浄液で拭き取っている途中に気分が悪くなり、しゃがんだまま意識を失っていた。

反対車室に入っていた監督者も気分が悪くなったため、車室から出て作業員へ外へ出るよう指示したところ 反応がなかったので、他の作業員に指示して引き上げさせた。(低酸素血症疑い)



【原因・問題点】

- ①閉所でのPT作業にも関わらず、換気をしれおらず、防毒マスクも未使用であった。(作業場所が地上面より低かったため、溶剤ガスが溜まり酸素濃度が低下していた。
- ②自主PTであり専門業者でない者が作業しており、作業及び溶剤に対する危険性の認識が不足していた。

【対策】

- ①PT作業は防毒マスクを着用し、閉所では換気を行う。
- ②PT作業においては、作業環境や溶剤等の条件を考慮し、必要な保護具や環境を整えてから作業を行う。